

自主的な地域づくり活動を支援

「まちづくり活動支援事業」の事例紹介

余別自治会 自主防災チーム活動推進事業

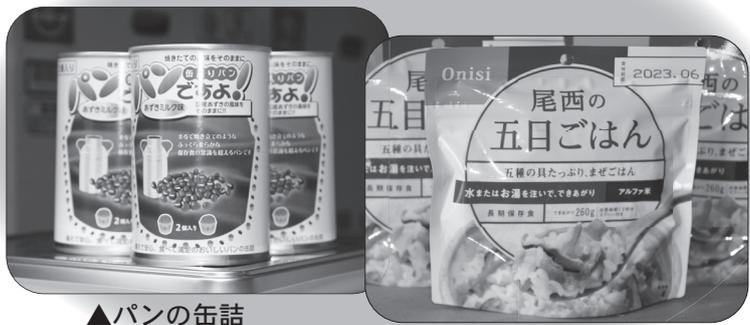
(備蓄食料配備事業)

：余別自治会

町では一般寄付金や(財)民間都市開発推進機構からの拠出金、過疎対策事業債を財源に積み立てた基金をもとに「積丹町まちづくり活動支援補助金」で町民の皆さんの自主的な地域づくり活動を支援しています。

今回は、令和2年度に余別自治会がこの補助金を活用して実施した「余別自治会自主防災チーム活動推進事業」を紹介しします。

配備した備蓄食料を紹介!



▲パンの缶詰 (あずきミルク味)

▲アルファ米五日ごはん など

余別自治会では自主防災チームを設置し、毎年、自主避難訓練等を実施しています。
「自主防災チーム活動推進事業」では、平成27年度に会の財源で配備した備蓄食料の賞味期限が迫っているため、新たな非常用備蓄食料を配備しました。
昨年11月には津波を想定した避難訓練を行い、IP告知端末と屋外拡声器からの訓練放送に併せて、津波避難場所に定められている集落の高台



▲昨年の避難訓練の様子

「双源寺」に約30名の町民が避難しました。
金杉 光秋会長は「災害は天候、季節に関係なく発生するもの。冬場には避難場所の双源寺までの避難路の除雪活動も行っています。緊急時に高齢者が迅速に避難できる体制を整えておくことが重要です。」と話していました。
自分の命は自分で守る『自助』、自分たちの地域は自分たちで守る『共助』の取組みを日頃から実践し、災害に備えましょう。

北後志消防組合積丹支署

消防ニュース

「危険箇所救助訓練」

6月22日の伝達講習は、4月から約1カ月間、北海道消防学校救助科に入校し、救助技術を学んだ南方 亮二隊員が倒壊した建物から要救助者を救出する方法と、寒冷下での要救助者の保温ラッピングを伝達しました。
低所救出訓練では、約8m下に



解体建物での「警防訓練」

6月29日には、解体予定の多茂木地区旧町営住宅を活用した警防訓練で、エンジンカッターで施錠ドアを破壊、逃げ遅れた要救助者を濃煙の中から救出し、はしごで屋根へ登り、屋根に排煙口を造る訓練を行いました。



隊員からは「実際の建物を活用する訓練はなか

コロナに
負けない!

～『緊急事態宣言』解除から1ヶ月～

「再拡大防止特別対策」で夏場を乗り切る!

■政府が「新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言」を解除してから1カ月が経ちました。

■北海道は道内でのデルタ株の確認が相次いでいることや、お盆など夏休みシーズンの到来による人の移動の活発化を見据えた「夏の再拡大防止特別対策」で感染拡大防止に努めています。

■積丹町も観光シーズン本番を迎えています。“安心・安全な選ばれる観光地・積丹”を目指すため、飲食・宿泊事業所の感染予防対策の徹底に努めましょう。

北海道の状況

【累計感染者数】 43,128名

【死亡者数】 1,422名

- 7月25日現在(道公表) -

コロナに
負けない!

夏の再拡大防止特別対策

全道域
(札幌市を除く)

期 間	令和3年7月12日(月)～8月22日(日)
要 請 内 容	(日常生活において) ◆感染性が高いとされるデルタ株に置き換わりが進むことを想定し、「三密」、「感染リスクが高まる「5つの場面※」等の回避や「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗い」など基本的な感染防止対策を徹底する。 ※飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わり
	(特に外出の際は) ◆重症化リスクの高い方※と接する際は、基本的な感染防止対策を更に徹底する。※高齢者、基礎疾患のある方、一部の妊娠後期の方
	◆感染リスクを回避できない場合、札幌市との不要不急※の往来は控える。 ※医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要なものを除く。
	◆「緊急事態措置区域」及び「まん延防止等重点措置区域」との不要不急の往来は極力控える。
	◆その他府県への移動は、「三密」の回避を含め、基本的な感染防止対策を徹底する。特に大人数(5人以上)の会食は控えるなど慎重に行動する。

自分の命を守る・家族の命を守る・社会の命を守る

【問合わせ先】

- ① 配布場所…総合文化センター1Fロビー
- ② 配布時間…午前9時から午後5時まで
(月・土・日・祝日除く)
- ③ 配布数量…1回2リットルまで
(事業所の方は増量可。洗浄済のペットボトル等を持参し、除菌剤の表示シールの貼付を！)
- ④ 消毒方法…テーブル、ドアノブ及び手すり等にスプレーで吹きかけ、10秒後に清潔なタオルで拭き取ってください。

役場住民福祉課 TEL 44-2113

「次亜塩素酸水」で消毒徹底を!

「コロナに負けない町に!」
夏本番の「事業所」でぜひ活用を!

北後志感染制御センター

「余市協会病院」でPCR検査

●検査予約

月曜日～金曜日に予約受付(当日不可)

●検査当日に持参するもの

本人確認書類
(運転免許証、健康保険証など)

●検査費用

北後志5町村の住民や企業・団体は
1人2万円、それ以外は同3万円。

【問合わせ先】

余市協会病院 TEL 0135-23-3126

まちの日記帳



第71回「社会を明るくする」運動 内閣総理大臣メッセージの伝達

6/25

昭和26年より始まった「社会を明るくする運動」は、第71回目を迎えましたが、コロナ感染症拡大防止のため、今年度も町村訪問パレードや住民集会は中止となりました。

「内閣総理大臣メッセージ」は、本間余市地区保護司会会長が来町され、松井町長に伝達されました。

保護司は、犯罪や非行を防止し安心・安全に暮らせる地域社会を築くことや、犯罪や犯行をした人が再び罪を犯さないように立ち直りを支援しています。

北後志5町村では現在29名の保護司が活動されています。



“税金”の大切さを学ぶ！

野塚・日司・余別小集合学習「租税教室」

7/14

野塚・日司・余別小学校の6年生6名が税金について学ぶ「租税教室」が、野塚小学校で行われました。

教室では、税金の種類や使われ方、税金がなくなったらどのような事が起きるかなどを役場税務課職員から説明を受けました。

児童は、自分たちの生活に大きく関わる「税のしくみと大切さ」を学ぶ貴重な機会でした。



ウニの海中蓄養を学ぶ！

余別小学校 課外体験学習

7/19

快晴の夏空の海で、余別小学校児童10名が、漁協積丹支所青年部(佐藤 翔太郎部長)が余別漁港内で蓄養しているキタムラサキウニの給餌作業を見学しました。

漁船に乗り蓄養施設まで近づき、青年部員が海中から蓄養籠を一気に引き揚げて中のウニを見せると児童たちは、「ウニだ!ウニだ!」、「たくさんいる!」と歓声をあげていました。

船から降りた後はウニ剥き体験を行い、自分で剥いた生ウニを味わいました。町の経済を支えるウニ漁業の現場を体験する貴重な学習でした。

